

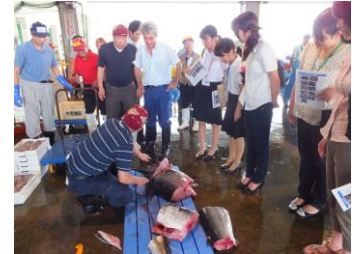
25年度 氷見市教育総合センターだより 第5報

メールアドレス kyouikukenkyu@city.himi.lg.jp

ホームページアドレス <http://www.city.himi.toyama.jp/hp/menu000000500/hpg000000416.htm>

ふるさと教育研修会 8月8日(木)

新規採用教員、今年度氷見市に転入された教員を対象に、ふるさと教育研修会を実施しました。氷見市漁業協同組合の廣瀬達之さんと博物館主査の小谷超さん、主任学芸員の西尾正輝さんから、氷見の歴史や文化について解説していただき、氷見の魅力を再発見する研修会となりました。



<参加者の感想から>

- ・漁業、自然、歴史に触れ、子どもになった気持ちで「楽しい」と感じた。氷見の奥深さに感動した。

氷見漁港 → 十二町潟水郷公園 → ひみラボ水族館 → 市立博物館

カジキマグロの解体作業を見学!

オニバスの花を見ました。繁殖場所が国指定天然記念物なんです!

天然記念物のイタセンバラをはじめ、水生生物がいっぱい!

大境洞窟の縄文期からの歴史や氷見の定置網ってすごいね!

第2回生徒指導研修会

8月28日(水)

講師 氷見警察署生活安全課係長

大房 郁朋

富山県警察本部サイバー企画指導補佐

松永 賢一

氷見警察署生活安全課の大房係長から、氷見市内の児童生徒の犯罪動向を講話いただきました。全体的に落ち着いているということでした。

スマートフォンをはじめ、携帯型音楽プレーヤーや携帯型ゲーム機の普及に対応するために、富山県警察本部サイバー犯罪対策室の松永サイバー企画指導補佐から、「インターネット上の危険性について」と題して講話いただきました。まず、警視庁動画ライブラリーの中から、「画面の中の分かれ道～スマホの落とし穴～」を視聴しました。また、実際のスマホ画面を操作しながら、無料通話アプリLINE(ライン)等について解説していただきました。特に、写真にGPSの位置情報が埋め込まれており、GPS機能を設定したまま撮影された写真をSNS(ソーシャルネットワークサービス)に投稿すると、相手に場所を特定されてしまうことの危険性について、理解を深めることができました。



☆警視庁動画ライブラリー <http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/anzen/movie/movie.htm>

<参加者の感想から>

- ・多くの子どもがスマホを持つ時代になり、子どもに「使うな」と禁止するのではなく、正しい知識を教えることの必要性を強く感じた。(小)
- ・スマートフォンに潜む危険性をリアルに学んだ。生徒は、その危険性に全く気付かず、「自分は、大丈夫だろう」と遊びの延長で利用している現状がある。保護者と生徒も研修を受ける機会が必要だと感じた。(中)

第1回学校経営研修会

8月6日(火)

講師 島谷弁護士事務所

弁護士 島谷 武志



島谷弁護士から、「学校における法律問題」と題し、講演をいただきました。学校における様々な問題について、裁判事例を基に、また、島谷弁護士の経験を踏まえ、根拠となる法律を示しながら解説していただきました。島谷弁護士からの資料を一部紹介します。

事故後の初期対応の重要性

- ・被害生徒への適切な処置、事故状況の把握。保護者に対する早期の説明。教職員間の意志統一。特に、事故状況については、その日のうちにメモをとっておくこと。

スポーツ事故におけるポイント

- ・児童生徒の年齢、技能、体力などを適切に把握し、これに見合った指導をする。
- ・指導方法…安全性を第一に考えた具体的指導が必要。抽象的な口頭での注意だけや技能以上のことをさせると過失あり。
- ・監視体制…直ぐに事故を発見できるような体制が必要。
- ・救助体制…直ぐに応急処置が執れること。救命用具の準備。
- ・事後措置…病院への連絡・搬送、家族への連絡。

安全配慮義務

- ・教員には、学校における教育活動及びこれに密接に関連する生活関係における生徒の安全の確保に配慮すべき義務があり、……適切な措置を講じる一般的な義務がある。

<参加者の感想から>

- ・同じ事象であっても、当該児童生徒の年齢や事案の質によって過失の有無が変わることを知り、日頃から危機意識をしっかりとって指導にあたるのが大切だと思った。(小)
- ・学校事故を未然に防止するポイントが見えてきた。また、大切な我が子が傷ついたときの保護者の気持ちに寄り添い、正確な事実に基づいた納得できる対応が重要であると痛感した。(中)

第2回学校経営研修会

8月21日(水)

講師 氷見市小学校校長会 会長

氷見市立窪小学校 校長 山崎 外美雄

氷見市小学校校長会長である窪小学校の山崎校長先生より、「教育法規を踏まえた、今日的な教育課題への対応」と題し、講演をいただきました。

山崎校長先生からは、教育法規に関する専門的な用語や条文への親しみ方や勉強すべきポイント、事象を関連付けて考えていくことの大切さ等を学びました。☆山崎校長先生の資料より(穴埋め問題に挑戦してみてください!)



「幼・小・中学校指導の重点」より

- ・創意工夫を生かした_____の編成と実施
- ・知識及び技能の活用など_____・判断力・表現力等を育成する学習指導の充実
- ・教員としての資質・能力を高めるための_____の充実

いじめ_____法(概要)

基本的施策・いじめの防止等に関する措置

- 1 学校の設置者及び学校が講ずべき基本的施策として①_____等の充実、②早期発見のための措置、③相談体制の整備、④_____を通じて行われるいじめに対する対策の…

<参加者の感想から>

- ・「学び方を学ぶ」いつも、子どもたちに意識して接していたが、まさに、自分自身もそうあるべきだと確認することができた。(小)
- ・山崎校長先生の「一教師たる者は、現場主義であること、当該者意識に立って考えることが大切であること」と話された結びの言葉がとても大きかった。(中)

全国学力・学習状況調査 氷見市結果

4月24日に実施された小学校6学年、中学校3学年対象の全国学力・学習状況調査結果より、氷見市児童生徒の学力等の状況をお知らせします。各校の状況と比較分析し、各校の取組の成果と今後の課題を探る手立てに活用してください。

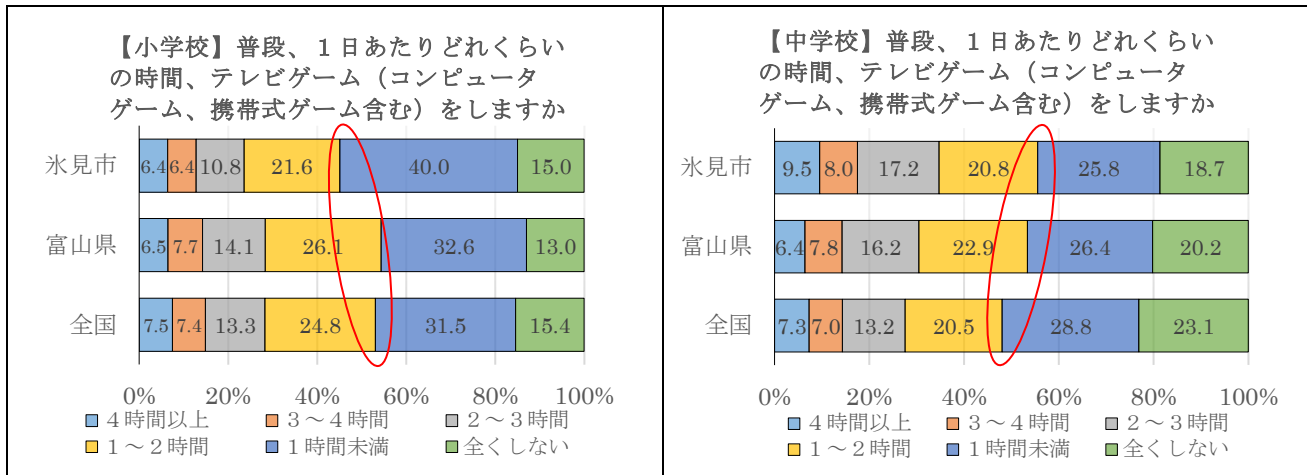
【各教科の平均正答率より】

教科区分	小 学 校				中 学 校			
	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
氷見市	67.1	50.1	81.9	62.7	78.4	69.1	65.4	43.0
富山県	63.8	50.7	79.7	60.4	78.9	70.4	65.8	43.9
全 国	62.7	49.4	77.2	58.4	76.4	67.4	63.7	41.5

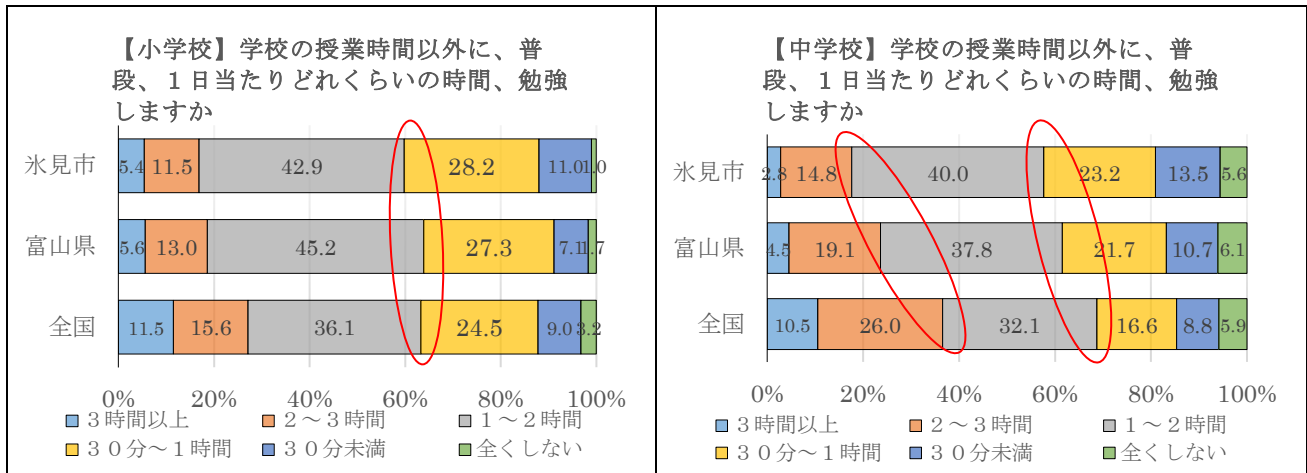
上記の表で見られるように、小中学校全教科の平均正答率が全国平均を上回りましたが、小学校国語Bと中学校4教科は、富山県平均を若干下回りました。

小学校、中学校ともに、基礎的・基本的な内容の習得が図られ、力が付いてきています。しかし、小学校国語Bは県平均を0.5ポイント、中学校国語Bは1.3ポイント、数学Bは0.9ポイント低いことから、「知識」に関する問題に比べて「活用」に関する問題に課題があると考えられます。今後更なる学力向上のために、学習規律の確立や基礎・基本の定着を図りながら、より一層の活用力を育てる必要があります。

【児童・生徒質問紙調査結果より】



※普段、1時間以上ゲームをしている割合は、全国・県平均と比べて小学校は低いが中学校は高いです。



- ※・家庭学習時間を見ると、1時間以上の割合は、小・中学校ともに全国・県平均より低いです。
- ・中学校での2時間以上の割合は全国平均より18.9ポイント、県平均より6ポイント低いです。
 - ・家庭との連携による家庭での学習習慣の定着を図る必要があります。

新しく氷見に赴任したALTです。よろしくお願いします。

Hello everyone! My name is Jocelyn Boatner. I'm from Chicago, the third largest city in America. It is near Lake Michigan and has lots of museums and other fun things to do. I hope that some of you will travel there some day.



I studied psychology and Japanese in college. I'm very happy to live and work in Himi. The ocean and the mountains are beautiful, and the fish is delicious. I hope to teach Japanese in America or work as a translator in the future. Therefore, I want to improve my Japanese while teaching students English in Himi.

My hobbies are reading books, writing and playing games. I also like to cook, watch movies and listen to music. I even played the *koto* in college. While I am in Japan, I want to visit many famous places and learn to cook Japanese food. I also hope to meet many new people and make many friends, so please say hello if you see me in the town!

Hello. My name is Andrea Spain. I am from Connecticut in the USA. My town is the same size as Himi. It is very hot and humid in summer, the leaves change color in fall. It's very cold and snowy in winter and rains a lot in spring. I have two brothers and two dogs.



I first became interested in Japan when I watched Dragonball on TV. In junior high school I began to learn Spanish and realized I liked learning languages. I decided to learn Japanese in college, and I studied Japanese literature and film. One of my favorite writer is Murakami Haruki. I like Japanese films too. I studied abroad for a year at Doshisha University in Kyoto and did a lot of sightseeing.

My hobbies are reading, writing, watching movies, going to concerts, cycling, and fencing. I am very excited to teach at Himi's schools and will try to do my best. I hope that you will say hello when you see me in the town and we can become friends.

市科学作品展より

9月14日(土)と15日(日)の2日間、氷見市教育文化センターで氷見市児童生徒科学作品展覧会が開催されました。今年度の出品点数は、小学校43点、中学校47点でした。身近な自然とのふれあいや学校での授業等から、対象への興味・関心を高めたり、疑問を見い出したりして、自分の考えを生かして追究している作品が多く見られました。



また、数年間継続して研究しているものやクラス全体で取り組んでいるものもありました。

審査の結果、金賞の小学校7点、中学校1点の中から、小学校4点が県の科学作品展に出品されます。会場は富山市科学博物館で期間は10月17日(木)～21日(月)、時間は9:00～16:00(21日は午前中のみ)となっています。